

3 年 団

学年主任： 山地 君代

(1) 今年度の目標

- ① 3年生としての自覚を持ち、規律ある高校生活を送る。
 - ・自主、自律的な生活を実践し、協調的態度を育成する。
- ② 進路目標を高く掲げ、実現する。
 - ・進路を明確にし、目標実現に向けて効果的な学習をする。
- ③ 豊かな人間性を涵養する。
 - ・社会生活における役割や自己責任を自覚し、深く豊かな人間性を育成する。

(2) 主な取り組みの計画

- ① 3年生であることを自覚し、自律的な生活が送れるよう支援する。
 - ・言葉遣いや服装・態度、時間や約束の厳守など基本的な生活態度が、大人としての行動（社会に出てのマナー）であるか、自分さえ良ければよいという言動をとっていないか、機会あるごとに反省を促し、常に責任ある言動がとれるように指導する。
- ② 主体的に進路目標が実現できることを支援する。
 - ・総体後の進路HRなどを充実させ、部活動引退後の気持ちの切り替えと受験態勢の構築が速やかに行えるよう面談等を通じて指導する。
 - ・塾頼りの受け身の学習ではなく、主体的な学習、特に家庭学習を充実させるよう指導する。
 - ・「進路説明会」や懇談会を充実させることにより、生徒と保護者が共通理解の下で進路を決定できるようにする。
 - ・「進路だより」を効果的に発行する。また、受験情報誌やインターネットなどを利用して、進路に関する情報を充実させる。
 - ・保護者を含む三者懇談や担任との面接などを通して、進路を明確にさせる。
- ③ 好ましい人間関係を築かせて、社会生活を営む力の向上を支援する。
 - ・「受験」という波に飲み込まれることなく、社会の動きを知り、周囲の人々の気持ちに配慮できるような広い視野を持たせる。
 - ・運動会や津島杯（校内球技大会）などの学校行事に積極的に参加させることによって、好ましい人間関係を築かせ、協力・強調の精神を養う。
 - ・高大連携や国際理解講演などを通してさまざまな刺激を与え、社会に目を向けた活動が出来るようにする。
 - ・目先の小さな利益にとらわれず、人生の遠くを見つめた学校生活ができるようにする。

(3) 成 果

- ・全体的に落ち着いた雰囲気で学校生活に取り組めた。体調不良での欠席や遅刻も比較的少なく、学校行事にも積極的に取り組んでいた。
- ・年度当初、学習時間が昨年度より少なめであったが、授業に対する取り組みは全体的に真面目で、授業中心の受験勉強を行うことができたと思う。課外や校内・校外模試にも真面目に取り組んでいた。
- ・8クラス体制となり、1クラスの人数が少なくなったため、学習の中心となる生徒が各クラスに数人おり、受験に向けてクラスのけん引力となった。また、面接や教科指導においても、各生徒により丁寧な指導を行うことができた。
- ・1年次より一貫して志望を高く持つ指導を行ってきたので、最後まで、高い志望を持ち続けた生徒が多かった。出願時も判定よりも志望を優先する生徒も多くみられた。
- ・年2回の保護者懇談に加え、センター後の懇談を充実させることにより、より丁寧な受験指導を行うことができた。
- ・自主的に服装を正そうとする動きが生徒の中にあり、服装面での大きな乱れはなく全体としてよ

く整えられていた。

(4) 課題と次年度以降の改善策

- 2年の春休みから総体前までの学習の取り組みが甘く、全体として受験体制に入るのが遅かった。そのため、地歴・公民や理科の学習や記述型の学習に遅れが見られ、校外模試の成績にもその傾向が表れていた。2年3学期に「3年0学期宣言」をしているが、何らかの指導が必要に思う。
- 一部の生徒だが、基本的内容が十分習得できていないため授業についていけず、その結果、塾中心の学習となり授業中は無気力だった生徒がいた。結果が出ないため、更にわがままな学習となり悪循環が繰り返されたように思う。